

仙南圏域ワーキンググループの活動について

◇経緯

令和2年度第2回圏域会議における複数委員からの意見



- ・『圏域の取組方針を具現化していく試みが必要』
- ・『具体的なアクションをすべき』

◇圏域の施策の方向性

(1) 新たな観光価値（No密，安全安心等）の提供に向けて，従来からの強み（温泉，自然（みやぎ蔵王），アクセス等）に加え，点在する多様な観光資源等，これまで弱みとされてきたものも，変革の機会を捉え強みに転換。

(2) まずは地元の方々に地元の良さを知ってもらい，次に仙台，県内，隣県からの誘客促進。地域にある資源の掘り起こし，磨き上げと，それらを結び付けたPR等により，見ていただく，買っていただく実需に繋げ，地域への利益を還元。

◇WG会議の概要

- 活動テーマ：仙南らしい観光モデルプランの創成
- メンバー：活動に賛同する有志メンバー
(令和3年5月時点：8名)
- 開催実績

【令和2年度】	第1回	R2.10.8	第2回	R2.11.11
	第3回	R2.12.11	第4回	R3.3.24
【令和3年度】	第1回	R3.4.15		

◇現在の検討状況（直近のWGでの議事概要）

- ・昨年度からの道の駅村田での体験ツアーたたき台を基にブレストによりアイデア出し。
- ・モニターツアー⇒8月実施
(村田でトウモロコシ体験+α(村田以外での体験))
- ・体験+体験，複数の市町での行程とし，“仙南地域”をPRする！
- ・現地調査を実施⇒5月6日以降に農作業体験にプラスする候補地をワーキングメンバーで回って歩く。
- ・現地調査には，ツアーを組んでくれそうな旅行会社にも参加してもらい，関係者間で打合せ。
- ・タケヤ交通にてツアー案等を旅行会社と相談する。